

<趣 旨>

日本 YMCA 同盟では、過去 16 回にわたって標記キャンプを主催してきました。

参加者は、インド南部の都市にあるインド SCM で過ごす中で、またインド最南端の農村にあるアンブマナイボーイズホームの少年たちと生活を共にすることを通して、それまで想像したことのない「貧しさ」と「豊かさ」を目の当たりにしてきました。それは、いま、私たちは飢餓と飽食が併存する世界に生きているという事実に対して、目を開かざるを得ない強烈な体験です。

このようにして芽生えた問題意識は、各地の学 Y、地域・全国の学 Y 活動、YMCA 活動に、直接・間接の刺激をもたらし、充実した活動を生み出しています。インドでは、WSCF (世界学生キリスト教連盟) に加盟しているインド SCM を訪れ、学生たちと交流する他、現地の YMCA やマザーテレサのブランチを訪問し、人々に仕える草の根の働きに触れます。

キャンプ期間中は「聖書を読む会」を行い、社会の現実と聖書のイエスの生き方に接するなかで、自らのあり方や問題提起を深め、互いに学び合います。それは、自由な応答の中で進められ、教えを受けるものではありません。

あなたも、アジアの人々との出会いを通し、育てられ、育ててゆく営みに触れ、自らの生き方を仲間と共に新たにしてく活動に参加してみませんか！

<募集要項>

1.目的

アンブマナイボーイズホーム等での交流を通して、アジアの人々との出会いを体験し、アジアへの視点を育てる。

インドの学生キリスト教運動(インド SCM)との交流を持ち、インドの社会状況について学びを深める。

YMCA やマザーテレサの家など、草の根で活動する団体を訪ね、インド社会の現実と NGO の働きの大切さを学ぶ。

帰国後、この体験を日本の学生 YMCA、都市 YMCA の青年と分かち合う。

2.期間

2012年2月22日(水)~3月10日(土)

*1月27日(金)に事前オリエンテーションを行ないます(要出席・東京)。また2月22日(水)と3月10日(土)は集合・解散日(東京)となります。なお、都合により日程が変更となる場合がございます。ご了承ください。

3.滞在先

アンブマナイボーイズホーム
(タミルナドゥ州カニヤクマリ)

インド SCM ハウス
(カルナータカ州バンガロール)

4.募集・条件について

- ・募集人数：6名前後(ただしグループの構成上、書類選考を行います)
- ・YMCAの活動に関わる方。

- ・グループ行動ができる協調性があり、異文化社会での生活への順応性がある方。
- ・英語でのコミュニケーション(生活レベル)が可能な方。
- ・飛行機、バス等での長時間の移動、現地での活動に耐えられる体力のある方(不安のある方はご相談ください。)
- ・未成年者は保護者の同意が必要になります。
- ・予防接種が必要となります。

5.参加費

210,000円

(渡航費及び現地滞在費・事前研修費含む。
ビザ取得費用・海外旅行傷害保険・予防接種代、国内移動費、また準備にかかる個人費用は含まれていません。また燃料費高騰のため21万円を超える可能性もあります。)

6.申し込み方法・締切り

同封・添付の「第17回学生YMCAインドスタディキャンプ参加申込書」にご記入の上、
2012年1月6日(金)まで(必着)に
下記事務局までお送りください。

国際情勢の影響で急遽渡航中止という可能性もありますことをご了承ください。

申し込み・問い合わせ先

日本 YMCA 同盟全国協力 学生 YMCA
横山 由利亜・森 小百合
〒160-0003 東京都新宿区本塩町 7
TEL : 03-5367-6645 / FAX : 03-5367-6641
e-mail : info@ymcajapan.org
日本 YMCA 同盟 HP : www.ymcajapan.org/

＊ ＊ 前回参加者感想より（抜粋） ＊ ＊

...インドでは朝 6 時の礼拝から 1 日が始まり、日中はプログラムを体験し、夜は聖研...体調を崩すことなく過ごせたのは、キャンパーの気遣いとボーイズと過ごした時間に癒されたからだと思う。...インドの日々は私の生き方の選択を確実に広げてくれた。

（小林真美・中央大学 YMCA）

...今思い出すのはやっぱりボーイズたちの顔で...子どもだけど、一人一人性格が違うし、悩んでいることだって違う彼らと全力で遊び、全力で笑うことで、無心になることができた。

（ボラ / 福島淳平・熊本大学 YMCA）

...最も心に残り、懐かしく恋しく思うのはボーイズホームの子どもたちの笑顔だ。...また夜の聖書研究は...自分に自信が持てず困惑することもあった。それでも自分の欠点に気づき、考える時間が与えられたことで、成長することができた。

（渡辺悠太郎・中央大学 YMCA）

...インドにいた人がすごく自分に正直に見えたからだろう。...自分が一番求めるものがわかっていて、わかったら立ち止まらないそんな生き方が魅力的で感化されてしまったのだ。もう自分のやりたいこと一つ一つに嘘をつけない僕がいる。

（中島敬之・京都大学 YMCA）

＊ ＊ 団長から皆さんへ ＊ ＊

「自己を問われ、答えを模索する経験を」

インド・スタディキャンプがどのようなものかと問われて答えるのは、過去のキャンパーであっても非常に困難です。それはキャンパーにとって、このような呼び掛け文や報告書で「出会い・学び・語り合い」といったように言語化されるインド・スタディキャンプと、自らの体験・経験・実感として大切なものでありつつ、いまだ言語化できないインド・スタディキャンプの隔たりが大きいかからではないかと思えます。

インド・スタディキャンプに参加することは本質的に、自分でもよくわからないものによくわからないままに参加することで、それで良いと思えます。しかし、実際のキャンプにおいて参加者はよくわからないままではおられず、さまざまな形で自己を「問われ」、それに対する「答え」を探ることになります。このような経験は、近年の日本でますます貴重なものとなってきています。

今回のインドスタディキャンプにおいても、参加するキャンパーが、未だ体験したことのない様々な出会いを通じた「問い」とその「答え」を模索する中で、成長する機会を得ることでしょう。

皆さんの参加を心からお待ちしています。

菅沼 慎一郎

第16回インドスタディキャンプ団長

京都大学YMCAシニア

2011年度 第17回 学生 Y M C A インドスタディキャンプ

< 募 集 要 項 >

2012年2月22日（水）～3月10日（土）



主催：日本 YMCA 同盟全国協力
学生 YMCA

協力：学校法人アジア学院
ワイズメンズクラブ国際協会
東西日本区